

保幼小中一貫教育だより ～豊かな自然と豊かな人材で豊かなこどもを育てる～



豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第150号 R8.3.6

東能勢小中学校の8年生が金賞！

大阪府教育庁主催「わくわく・どきどき SDGs ジュニアフォーラム 2025」

東能勢小中学校8年生が、2月14日（土）、大阪府立労働センター（エル・おおさか）において開催された「わくわく・どきどき SDGs ジュニアフォーラム 2025」で、最高賞である金賞を受賞しました。

「わくわく・どきどき SDGs ジュニアフォーラム」は、子どもたちが地域社会の課題解決に向けて、他者と協働しながら探究的な学習に取り組む中で、主体的に社会に参画していく力を身につけていくことを目的に開催されています。



当日は第一次審査を経て選ばれた12の中学校の代表生徒が、それぞれの取り組みについてプレゼンテーションを行いました。12校中の最後の発表、代表として登壇した5人の生徒は「TMP8 豊能町のすばらしい未来を追い求めて～防災で最高の恩返しを～」をテーマに、避難所のユニバーサルデザイン化、防災情報の発信と普及などについて発表しました。避難所に関するアンケートから、「トイレの臭い」が大きな課題だと分かり、地域の方にアドバイスいただきながら「竹炭」や「もみ殻くん炭」の消臭効果を実験によって確認するとともに、「竹炭」「もみ殻くん炭」づくりに取り組んだ報告がありました。また東地区の防災パンフレットを自分たちで作成し、自治会の方にも協力いただきながら、各戸への配布を実現したことなども報告されました。自分たちの取り組みを8分間にぎゅっと詰め込んで発表した後、他の学校からの質問に対しても、落ち着いて受け答えしていました。

結果が発表された瞬間は、子どもたちはもちろん、引率の教職員も一緒になり、喜びを表していました。

これまでも東能勢小中学校はフードロスや竹害などをテーマに「わくわく・どきどき SDGs」に取り組んできました。今年の子どもの頑張りはもちろんですが、先輩から受け継いだもの、学びを支えた先生方、そして地域の方々のご協力によってたどり着くことができた結果だと思います。

これからも地域と共に学ぶ、豊能町の子どもたちの育ちを応援願います。

史上最大の光小遊び祭り！！ 豊能町立光風台小学校 閉校記念イベント

今年で49年の歴史に幕を下ろす光風台小学校。たくさんの卒業生の方が実行委員として、忙しい合間をぬって動いてくださいました。

卒業生で、世界で活躍されているBMXレーサーの増田優一選手による自転車体験教室も開催され、初めての経験に目を輝かせる児童の姿がありました。

在校生の働きにも目をみはるものがありました。開始の合図とともに「遊びのブース」に向かって歩き出す6年生。たくさんのお客様に接客する姿。大勢の観客の前で、堂々と司会を行う児童会役員の姿。光風台小学校がこれまで大切にしてきた「自分たちの学校は自分たちでつくる」姿が輝いていました。

地域の人々に支えられ、たくさんの人々に愛された光風台小学校。これからも、光風台小学校は、みなさんの心にあり続けます。



東と小 ありがとう ～感謝の日～ 豊能町立東ときわ台小学校 閉校記念イベント

1982年に開校した東ときわ台小学校。卒業生の皆さんや開校時の元教員、保護者、そして地域の方が閉校式スタッフとして動いてくださいました。

当日は、人、人、人の体育館。在校生の想いが込められた「思い出のアルバム」に胸を熱くし、卒業生と在校生がともに歌う「校歌」が体育館に響き合い、温かい空気に包まれました。

卒業生で世界的ピアニストでもある関本昌平氏による演奏と在校生へのメッセージ。好きなことを大切にして、努力をあきらめずに続けていくことの素晴らしさに心を打たれたのは、在校生だけではありませんでした。

最後には、13年間東ときわ台小学校で続いているプロジェクションマッピング。会場に映し出される写真や、演出の数々に歓声が上がりました。それぞれが、胸の中にある「あんなこと、こんなこと」を思い出し、泣いた日も笑った日もそばにいた人たちとの再会を喜び合いました。

「東ときわ台小学校で 出会えた ありがとう」



とよの東学園（新1年）・とよの西学園（新1～9年） 「緊急メール」の試験送信を行いました！

3月3日（火）に、「緊急メール」の試験送信を行いました。

まだ登録されていない方は、至急、ご登録をお願いいたします。

